

第1回小児造血幹細胞移植コーディネーターセミナー

2015年5月23日 於 ガーデンシティ横浜

東海大学医学部附属病院では、造血幹細胞移植推進拠点病院の事業の一環として、研修生の受け入れやセミナー開催等による人材育成に取り組んでいます。

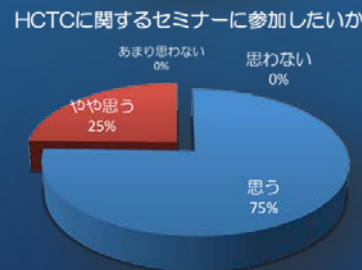
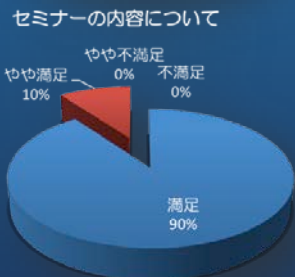
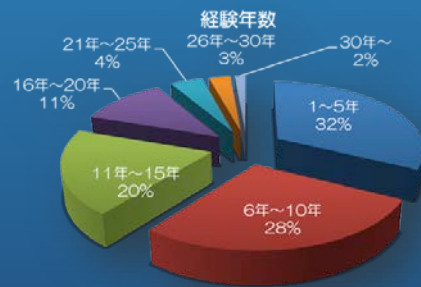
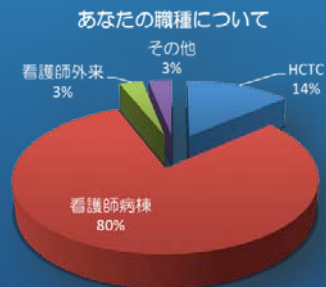
2015年5月23日、こどもの意思決定に関わる医療従事者の方を対象にセミナーを開催し、造血細胞移植コーディネーター（HCTC）および、看護師、Child Life Specialist、医療ソーシャルワーカー、臨床心理士など、計71名の参加をいただきました。

4名の講師の方から、小児造血細胞移植に関する興味深い講義が行われ、セミナー参加者からは、その内容について高い満足の声が寄せられました。



参加者のコメント

「小児の移植を行う病院にはHCTCが在席すべきだと思いました」
 「実践者、専門家の話が聞いて良かった」
 「患者とドナーの意思決定の難かしさと重要性を再認識できました」
 「小児の移植施設は少なく、情報共有や勉強できる機会も少ない。他施設の状況を知る機会となり、仲間がいる安心感を得られました」



セミナー内容

- 小児移植におけるHCTCの機能
東海大学医学部附属病院のHCTCから、移植医療が抱える特殊な問題に関して、HCTCが果たす役割について紹介されました。
- HCTCの活動の実際
信州大学医学部附属病院のHCTCから、こどもがドナーとなっていく場合の介入方法を中心に、具体的な支援について紹介されました。
- こどもと家族の意思決定支援
聖路加国際病院の小児看護専門看護師から、小児医療における意思決定の難しさと、コミュニケーションプロセスを持つことの大切さについて学びを深める講義が行われました。
- 小児ドナーの安全な採取
東海大学医学部附属病院の医師から、こどもがドナーとなる場合の倫理的問題と、安全管理の重要性について講義が行われました。

今後も、造血細胞移植の現場で力を尽くされている皆さまの声を聞きながら、移植医療に関するよりよい環境をつくるための人材育成の機会を作りたいと思います。

セミナー・研修に関するお問い合わせ
 東海大学医学部附属病院「造血幹細胞移植推進拠点病院」事務局
hsct@tsc.u-tokai.ac.jp